

# 決算補足説明資料

(2023年3月期第1四半期)

ミアヘルサホールディングス株式会社  
(東証スタンダード市場：7129)

2022年8月10日



# 2023年3月期第1四半期 (決算概要)

# 2023年3月期第1四半期 決算概要



## 業績状況

売上高】 **128.0%**

【営業損失】 **△13百万円** (前年同四半期は営業利益69百万円)

## 主な要因

【売上高】 2021年10月にグループ会社化したライフサポート(株)の園児数・児童数の増加が寄与

【営業利益】 ①医薬事業は、2022年4月実施の調剤報酬改定、薬価改定(改定率△6.69%)の影響により、利益率が低下。また、新規開設の調剤薬局の先行コストが生じたことで減益。

②介護事業は、コロナの影響により、通所介護事業所の利用者数が減少したほか、前期開設した事業所を中心に看護師等の人員確保のための採用コストが生じたことで営業損失

【四半期純利益】 ライフサポート(株)にて、グループ会社化した以前の時間外手当の追加支給分を特別損失で計上

## ■第1四半期業績状況

(単位：千円)

	第1四半期		前年同期比	
	2022年3月期	2023年3月期	増減額	増減率
売上高	4,286,612	<b>5,488,366</b>	1,201,754	28.0%
売上総利益	427,658	<b>461,353</b>	33,694	7.9%
販売費及び一般管理費	358,138	<b>474,897</b>	116,759	32.6%
営業利益	69,520	<b>△13,544</b>	<b>△83,064</b>	—
営業利益率 (%)	1.6%	<b>△0.2%</b>	—	—
経常利益	86,327	<b>△22,693</b>	<b>△109,021</b>	—
経常利益率 (%)	2.0%	<b>△0.4%</b>	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,366	<b>△52,059</b>	<b>△108,425</b>	—

※ご参考：2022年3月期第1四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値

2023年3月期第1四半期  
(セグメント業績)

# セグメント売上高・セグメント利益（前年同四半期期比）







業績状況

【売上高】 **128.0%**

【営業損失】 **△ 13百万円**（前年同四半期は営業利益69百万円）

## ■セグメント売上高・利益推移

（単位：千円）

		2022年3月期	2023年3月期	前年同四半期比	
		第1四半期	第1四半期	増減額	増減率
 医薬事業	売上高	2,124,888	2,174,757	49,869	2.3%
	セグメント利益	120,398	93,986	△26,411	△21.9%
 介護事業	売上高	837,210	892,042	54,832	6.5%
	セグメント利益又は損失	27,064	△19,475	△46,540	—
 保育事業	売上高	1,077,755	2,177,795	1,100,039	102.1%
	セグメント利益	101,941	97,807	△4,133	△4.1%
報告セグメント計	売上高	4,039,854	5,244,595	1,204,741	129.8%
	セグメント利益	249,405	172,319	△77,085	△30.9%
 その他 （食品事業）	売上高	246,758	243,770	△2,987	△1.2%
	セグメント利益	13,430	16,644	3,213	23.9%
調整額	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	△193,315	△202,508	△9,192	—
全社計	売上高	4,286,612	5,488,366	1,201,754	28.0%
	セグメント利益	69,520	△13,544	△83,064	—

※ご参考：2022年3月期第1四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値



## 業績状況

【売上高】 **102.3%**      【営業利益】 **78.1%**      ⇒ **増収・減益**

## 主なポイント

- ①**処方箋枚数**：**106.7%**（前年同四半期比）
  - ・2021年12月・2022年5月開設した新規店舗（3店舗）の出店効果が寄与。
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているものの、既存店舗も回復傾向で推移。
- ②**処方箋単価**：**96.6%**（前年同四半期比）
  - ・2022年4月実施された薬価改定(改定率△6.69%)の影響による薬剤料単価の低下。
  - ・「かかりつけ薬局」「在宅医療業務」等の取組を強化することで加算獲得に努めるも、調剤報酬改定の影響等により技術料単価の低下。
- ③2022年5月開設の薬局（1店舗）のための先行コストの発生のほか、処方元である新設の大型病院の患者様の受入れ態勢の整備が遅れていることによる売上・利益の伸び悩み。

医薬事業	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率
売上高（千円）	2,124,888	2,174,757	49,869	2.3%
セグメント利益（千円）	120,398	93,986	△26,411	△21.9%
セグメント利益率（%）	5.7%	4.3%	△1.4ポイント	—

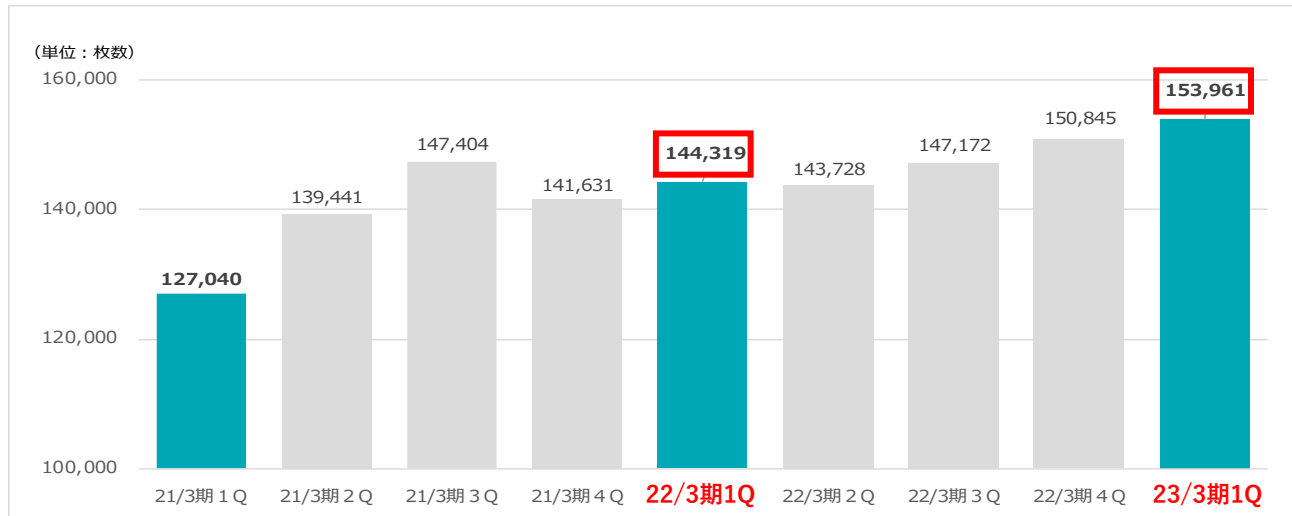
※ご参考：2022年3月期第1四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値



## 主なKPI

### 処方箋枚数の推移 ・ 処方箋単価（平均）の推移

#### ■ 処方箋枚数の推移



▶ **処方箋枚数**

前年同四半期 **+9,642**枚

\*うち新店舗 +9,393枚  
(2021年12月以降開局)

#### ■ 処方箋単価（平均）の推移



▶ **処方箋単価**

前年同四半期比 **△489**円

\*うち薬剤料 △427円  
\*うち技術料 △63円

※処方箋単価は、四半期毎の平均単価



## 業績状況

【売上高】 **106.5 %**

【営業損失】 **△ 19百万円** (前年同四半期は営業利益27百万円)

## 主なポイント

- ① **通所介護利用者数：93.6%** (前年同四半期比)
  - ・新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点からの利用自粛は継続しているが、利用者数は回復傾向で推移している。
- ② 2021年3月に開設したグループホームと9月に開設したホスピスの利用者数の増加、2021年10月にグループ会社化したライフサポート(株)の介護事業が寄与
- ③ 2022年9月開設のホスピス等の看護師確保のための採用コストが増加。

介護事業	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率
売上高(千円)	837,210	892,042	54,832	6.5%
セグメント利益又は損失(千円)	27,064	△19,475	△46,540	—
セグメント利益率(%)	3.2%	△2.2%	—	—

※ご参考：2022年3月期第1四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値

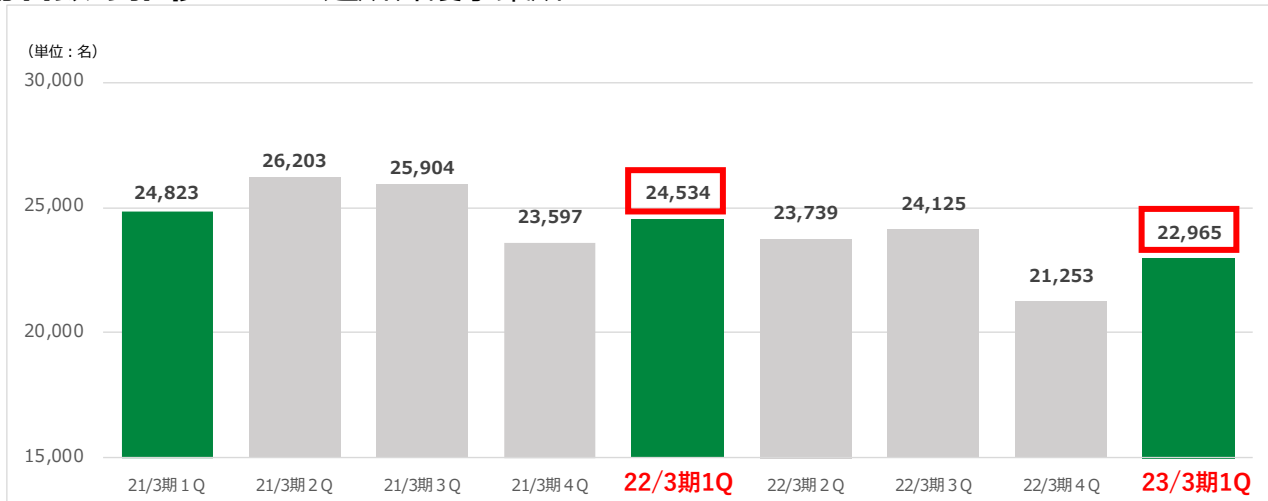




## 主なKPI

### 利用者数の推移（通所介護） ・ 入居率の推移（サービス付き高齢者向け住宅）

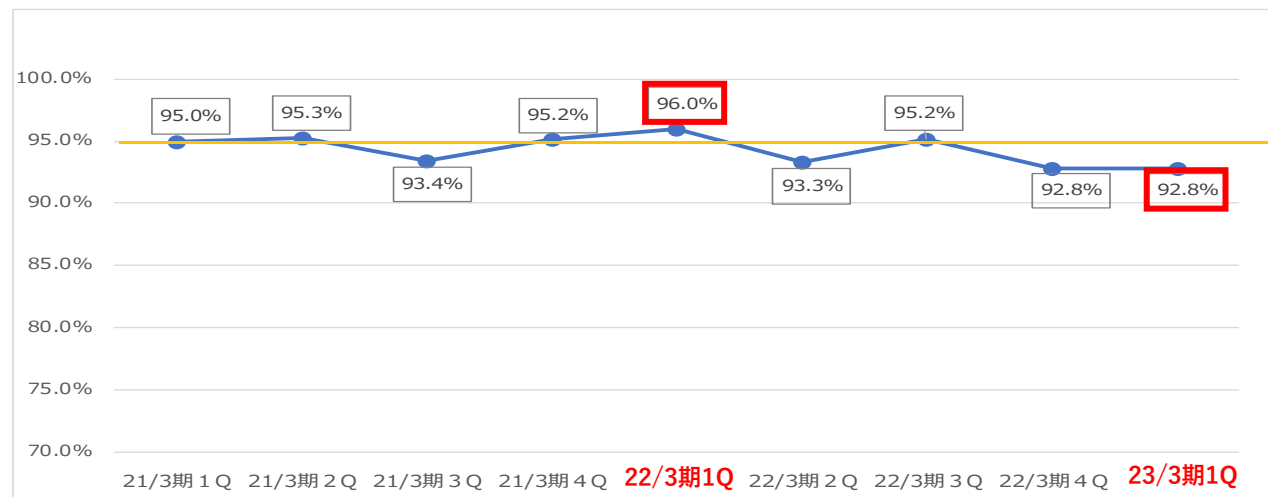
#### ■ 利用者数の推移 — 通所介護事業所 —



▶ **利用者数**

前年同四半期  $\triangle 1,569$  名

#### ■ 入居率の推移 — サービス付き高齢者向け住宅（特定施設含む） —



▶ **入居率**

前年同四半期比  $\triangle 3.2$  ポイント

※逝去された入居者が多く、前年同期比で減少したが、**高水準を維持**



## 業績状況

【売上高】 **202.1 %**

【営業利益】 **95.9%**

⇒ **増収・減益**

## 主なポイント

- ① **園児数：161.0%**（前年同四半期比）
  - ・ 2021年10月にグループ会社化したライフサポート(株)の園児数・児童数の増加が寄与
  - ・ 2021年4月及び、2022年4月に開設した認可保育園の園児数の増加が寄与
- ② **セグメント利益率：△5.0%**（前年同四半期比）
  - ・ 既存保育園の園児数の減少による売上の減少、人件費等の経費の増加にくわえ、ライフサポート(株)のグループ会社化による影響。
- ③ **運営事業所数：+ 5 事業所**（前年度末比）
  - ・ 認可保育園 3 園開設、学童クラブ 1 カ所開設、指定管理者として公立保育園 1 園の運営開始

保育事業	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率
売上高（千円）	1,077,755	2,177,795	1,100,039	102.1%
セグメント利益(千円)	101,941	97,807	△4,133	△4.1%
セグメント利益率（%）	9.5%	4.5%	△5.0%	—

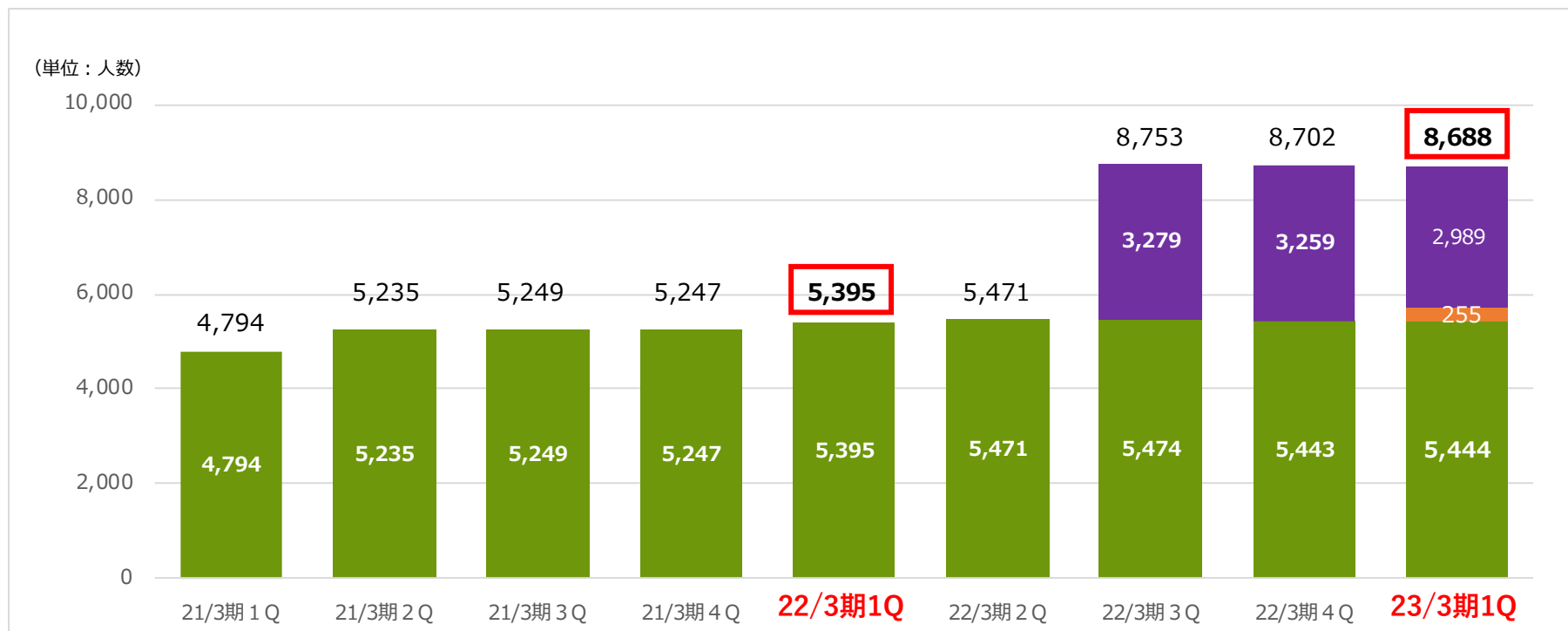
※ご参考：2022年3月期第1四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値



## 主なKPI

## 園児数の推移

### ■ 園児数の推移



### ▶ 保育園区分

- ライフサポート
- 2022年4月開園保育園 (ミアヘルサ(株)×3園)
- 既存保育園 (旧 東昇商事を含む)

### ▶ 園児数

前年同四半期 **+3,293** 名

- \* ライフサポート社 +2,989名
- \* 新規保育園 +255名
- \* 既存保育園 +49名

2023年3月期  
連結業績予想達成度

# 2023年3月期1Q 対業績予想



## 第1四半期 対業績予想

【売上高】・【営業利益】・【経常利益】 ⇒ 概ね業績予想通りで推移

【四半期純利益】 特別損失（過年度給与手当等）52百万円計上により **未達**

## 第1四半期業績予想の主なポイント

- **医薬事業**：①2022年4月実施の薬価改定による処方箋単価の低下  
②5月開設の新規薬局の先行コストの発生
- **介護事業**：①前期開設したホスピス等の新規事業所の先行コスト(看護師等のスタッフの採用コスト等)の発生
- **保育事業**：①2021年10月にグループ会社化したライフサポート社の園児数の増加による増収効果  
②ライフサポート社の経営改善による利益率向上

	2022年3月期第1四半期		
	業績予想	実績	差異
売上高（千円）	5,515,000	5,488,366	△26,634
営業利益（千円）	△27,000	△13,544	+13,456
経常利益（千円）	△22,000	△22,693	△693
四半期純利益（千円）	△14,000	△52,059	△38,059

# 2023年3月期 業績予想達成状況



2023年3月期  
業績の進捗率

【売上高】 **24.0%**      【営業利益】 **△3.3%**      【経常利益】 **△5.5%**  
【親会社株主に帰属する当期純利益】 **△15.1%**

(単位：千円)	2023年3月期		
	実績	業績予想	進捗率
売上高	5,488,366	22,910,000	24.0%
営業利益	<b>△13,544</b>	410,000	<b>△3.3%</b>
営業利益率 (%)	<b>△0.2</b>	1.8	—
経常利益	<b>△22,693</b>	415,000	<b>△5.5%</b>
経常利益率 (%)	<b>△0.4</b>	1.8	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>△52,059</b>	345,000	<b>△15.1%</b>
当期純利益率 (%)	<b>△0.9</b>	1.5	—
1株当たり当期純利益 (円)	<b>△20.92</b>	138.65	<b>△15.1%</b>

## 【2023年3月期業績予想達成のポイント】

- ① **医薬事業：**
  - ▶ 新規薬局の処方元である大型病院の患者受入体制の整備による処方箋枚数の増加（外部要因）
- ② **介護事業：**
  - ▶ ホスピスの看護師確保による利用者受入の増加
  - ▶ 通所介護の利用者数の回復
  - ▶ サービス付き高齢者向け住宅の入居率の回復
- ③ **保育事業：**
  - ▶ ライフサポート(株)の保育事業の収益性向上
  - ▶ ミアヘルサ(株)の既存保育園の園児数増加

【前提】：上記連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

# 2023年3月期 業績予想（四半期毎）



(単位：千円)	2023年3月期				
	第1四半期		第2四半期累計	第3四半期累計	第4四半期累計
	業績予想	実績	業績予想	業績予想	業績予想
売上高	5,515,000	5,488,366	11,140,000	16,990,000	22,910,000
営業利益	△27,000	△13,544	25,000	200,000	410,000
営業利益率（%）	△0.5	△0.2	0.2	1.2	1.8
経常利益	△22,000	△22,693	30,000	205,000	415,000
経常利益率（%）	△0.4	△0.4	0.3	1.2	1.8
親会社株主に帰属する当期純利益又は四半期純利益	△14,000	△52,059	21,000	140,000	345,000
当期純利益率又は四半期純利益率（%）	△0.3	△0.9	0.2	0.8	1.5

【前提】：上記連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

# Appendix




# 主な経営指標の推移 (2023年3月期)



回次		第35期	第36期	第37期	第1期	第2期
決算年月		2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高	(千円)	16,134,543	16,686,358	16,754,542	19,510,261	<b>22,910,000</b>
経常利益	(千円)	221,619	337,757	340,243	189,986	<b>415,000</b>
当期純利益	(千円)	339,765	435,895	478,180	291,566	<b>345,000</b>
資本金	(千円)	97,000	451,589	455,198	300,550	<b>300,620</b>
発行済株式総数	(株)	194,000	2,450,600	2,473,600	2,488,300	<b>2,488,700</b>
純資産額	(千円)	1,370,676	2,515,003	2,975,849	3,202,696	—
総資産額	(千円)	8,256,536	8,848,870	10,069,261	14,205,288	—
1株当たり純資産額	(円)	706.16	1,026.27	1,203.04	1,287.13	—
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額)	(円)	— (—)	— (—)	25.0 (10.0)	※4 30.0 (13.0)	<b>30.0 (13.0)</b>
1株当たり当期純利益	(円)	175.14	222.42	194.40	117.49	<b>138.65</b>
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	—	222.12	191.57	116.61	—
自己資本比率	(%)	16.6	28.4	29.6	22.5	—
自己資本利益率	(%)	28.3	22.4	※3 16.1	8.5	—
株価収益率	(倍)	—	4.9	6.3	—	—
配当性向	(%)	—	—	12.9	14.5	—

- ※1. 2021年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期～2020年3月期の2期間については、ミアヘルサ単体決算数値・2021年3月期はミアヘルサ連結決算数値となっております。
- ※2. 2019年8月9日開催のミアヘルサ取締役会決議により、2019年8月29日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っておりますが、第35期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算出しております。
- ※3. 2021年3月期の自己資本当期純利益は、連結初年度のため、期末自己資本に基づき計算しております。
- ※4. 2022年3月期(第1期)において、当社の完全子会社であるミアヘルサ(株)にて1株当たり配当額13.0円を実施しており、HDの期末配当と合わせると1株当たり配当額30.0円となります。



2023年3月期  
新規開設事業所 紹介



# 日生薬局 江北2号店 (2022年5月 開局)



「東京女子医大 足立医療センター」の門前に位置する大型調剤薬局の2号店

## 日生薬局 江北2号店



## 日生薬局 江北店



- 本資料には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。
- これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

ご質問がありましたら下記窓口までお問い合わせください。  
ありがとうございました。

I R お問合せ窓口	ミアヘルサホールディングス株式会社 I R 担当 E-mail <a href="mailto:contact-ir@merhalsa.jp">contact-ir@merhalsa.jp</a> T E L 03-3341-7205 IRサイト <a href="https://www.merhalsa-hd.jp/ir/inquiry/">https://www.merhalsa-hd.jp/ir/inquiry/</a>
---------------	--

## 免責事項

- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、保証するものではありません。
- また、環境に関する記載内容は、信頼できると思われる各データに基づいて作成しておりますが当社はその正確性、完全性を保証致しかねますのでご了承ください。
- 本資料は、皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆様のご判断で行われますようお願い申し上げます。